

すぐわかるグリーン電力

グリーン電力証書、グリーン電力基金、
グリーン・エネルギー・マーク…。
グリーン電力には、地球温暖化を防ぐ自然エネルギーを
増やしていくしくみが込められています。



.... ページ 2



.... ページ 3



.... ページ 4



.... ページ 5

グリーンメモ ページ 6

1. どうして今必要なの？

自然エネルギーの導入は、石油などの限りある資源へ過度に依存している「エネルギー問題」、そして「地球温暖化問題」を解決するための有効な方法です。

今、私たちは、さまざまな問題に直面しています。中でも大きな課題となっているのが、「エネルギー問題」と「地球温暖化問題」。
これまで大量に使ってきた石油や天然ガスなどの化石燃料は、限りある貴重な資源であるといわれています。
さらに、地球温暖化に大きな影響を与えている CO2 の排出量も、増加の一途をたどっています。

私たちが
今、取り組む
べきこと

1. エネルギーを CO2 を出さないものに替えていくこと
2. より多くの企業や個人がこの取り組みに参加すること

私たちが、エネルギーを化石燃料から、CO2 を増やさない自然エネルギーに替えていくには、直接、太陽光発電や風力発電を導入するといった方法があります。
でも、グリーン電力に関するシステム（グリーン電力証書の購入、グリーン電力基金への寄付、そしてグリーン・エネルギー・マークが表示された製品の購入）を活用すれば、間接的に、自分たちのできる範囲内で、自然エネルギーの導入普及に参加できます。

グリーン電力の誕生

日本のグリーン電力証書システムは、発電事業者や電力需要家など民間の有志たちの手で生み出されました。

- 1 1997年の地球温暖化防止京都会議以降、二酸化炭素削減は急務な課題になり、企業などの大口電力需要家の責任は大きなものになりました。
- 2 その結果、二酸化炭素削減の取組みとして、省エネのさらなる推進とともに有効な方法として、自然エネルギーの導入が注目されました。
しかしながら、自然エネルギーは誰でもが容易に導入できるものではありませんでした。
- 3 そこで、誰もが自然エネルギーを活用し導入普及に貢献するためのアイデアが発案されることとなったのです。
そのアイデアの特徴は、
 1. 自然エネルギーの「環境価値」への着目
 2. 「みなし購入」というシステムにありました。この2つが、自然エネルギーの発電事業者と自然エネルギーの活用を希望する電力需要家を結びつけることになり、遠く離れたところで発電された自然エネルギーの電力「グリーン電力」を、誰もが活用することのできるシステム『グリーン電力証書』が誕生したのです。

2. どうやってつくられるの？

グリーン電力は、太陽光、風力、バイオマス、水力（中小規模水力）、地熱といった自然エネルギーから作られます。

その環境負荷が少ないという特徴が“グリーン”ということばに表されています。



化石燃料や原子力など従来のエネルギーからの電力も、自然エネルギーからの電力も、電気として使うときには、品質は全く同じです。

しかし、自然エネルギーからつくられたグリーン電力は、再生可能で枯渇せず、また二酸化炭素を排出しないことから地球温暖化を防止するといった付加価値を持っています。

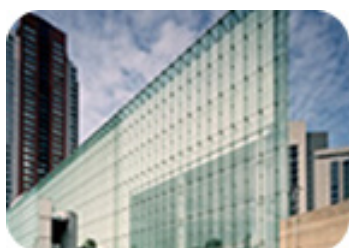
3. どんな風に使われているの？

グリーン電力を使って作られた製品やサービス、グリーン電力で運営されるイベントなど、すでに身近でさまざまなかたちで使われています。



ホテル／帝国ホテル

帝国ホテルでは、東京と大阪の2つのホテルで、毎年、クリスマスの時期に外観やロビーを彩るイルミネーションに使う電気をグリーン電力で賄っています。また、ホテル内の照明などにも使っています。



映画館／TOHO シネマズ

TOHO シネマズは、2007年の映画「不都合な真実」上映でグリーン電力を使用して以降、翌2008年には、六本木ヒルズと京都二条にある2館で、6月から12月までの毎週日曜日にグリーン電力を使用しました。2009年は「グリーン・サンデー・リレー 2009」と銘打ち、4月から12月までの、毎週日曜日にグリーン電力による上映を全国38の劇場でリレー形式で行います。



地図検索／NAVITIME

PCや携帯で最適なルートを案内してくれる「NAVITIME」では、サービスに必要なすべての電気についてグリーン電力を利用しています。



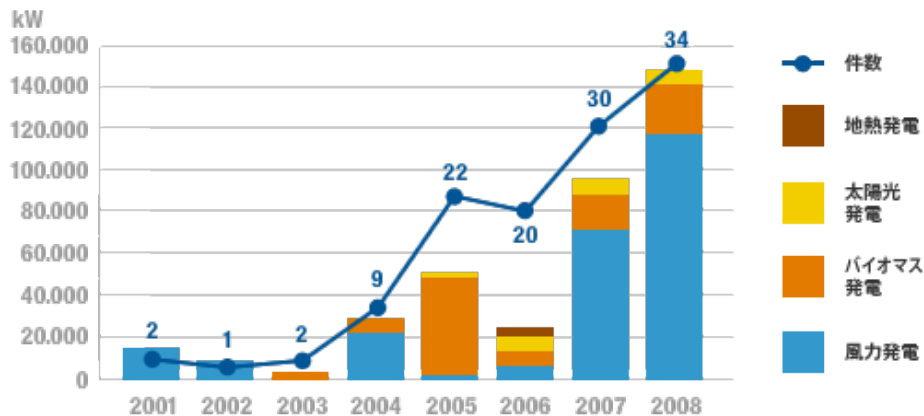
雑誌／ソトコト

地球環境にやさしいライフスタイルなどをテーマとする雑誌「ソトコト」では、編集部で使うすべての電気をグリーン電力で賄っています。

4. どのくらい増えてきてるの？

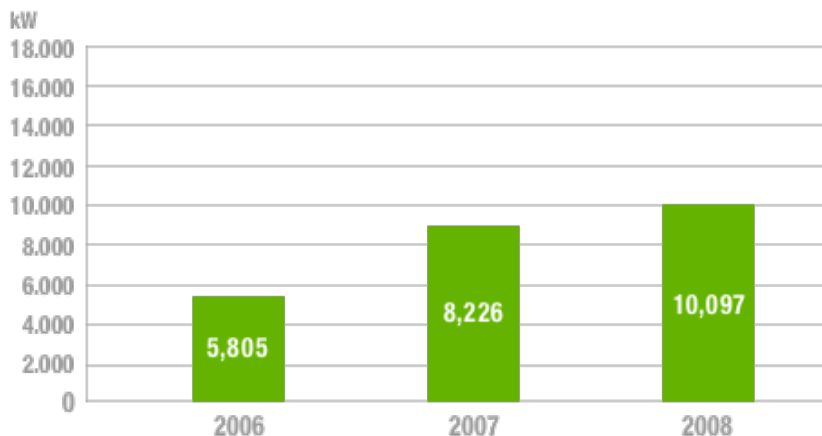
自然エネルギーの電力が「グリーン電力」となるためには、その発電設備がグリーン電力を発電する発電設備であると認定されなければなりません。グリーン電力の発電設備と認定されている設備は、年々増えてきており、2009年3月末で120件、総発電設備容量は37.1万kWに上りました。

設備認定実績



また、グリーン電力証書の発行数も増えてきており2008年12月時点で1億kWhを越えました。

グリーン電力証書発行状況



※ 2008年度は2008年12月末時点の値

出典：財団法人日本エネルギー経済研究所グリーンエネルギー認証センター

グリーンメモ



○ 自然エネルギーって何？

自然現象を利用して作られたエネルギーです。枯渇するおそれがなく、二酸化炭素を増やさないなどの特徴を持っています。



太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱などを使って発電するなどして利用

○ 地球温暖化から地球を救える？

自然エネルギーから作られるグリーン電力の役割として、今最も注目されているのが、地球温暖化対策です。

グリーン電力を使うことは、自然エネルギーの導入普及を応援することになり、地球温暖化のペースを抑えることにつながります。